

平成 17 年 6 月 22 日

# はっする



福井県嶺南振興局若狭健康福祉センター

## 性感染症・子宮がん予防講演会を開催します。

若狭健康福祉センターでは、元気長生きが  
ん予防事業の一環として、学校・地域・職域  
と連携し、性感染症および子宮がん予防普及  
啓発のための講演会を行ないます。多くの方  
のご参加をお待ちしています。

### 講演会

演題「性感染症から自分を守るために」  
～子宮がんと関連も含めて～  
日時：平成 17 年 7 月 14 日 (木)  
13:00～14:30  
場所：福井県立大学小浜キャンパス  
交流センター多目的ホール  
講師：公立小浜病院 産婦人科医長  
岡 秀明 先生  
対象：小浜キャンパス学生、教員、  
一般住民

また、今後も普及啓発のための活動を行なっ  
ていく予定です。「こういうことをやってほし  
い」「こういうテーマの講演が聞きたい。」等々、  
ご意見がありましたら、当所まで、どしどしご  
連絡下さい！

### 福井県感染症発生動向調査速報 (6月上旬)

○ 届出の報告はなし。

### ○ 編集後記 ○

最近本当に暑いですね(´・`;) )  
今回は性感染症と子宮がんについてでし  
た。なかなか、20 代でがん検診を受けるの  
は勇気が要りますが、正しい知識と予防策を  
とり、一人一人が予防に努めたいですね。。

### ☆☆ 性感染症・子宮がん予備知識 ☆☆

#### 性体験のある高校生の 1 割が

#### クラミジア感染

性体験のある高校生のうち、約 1 割が性感  
染症 (S T D) の一種、性器クラミジア感染  
症に感染していたことが厚生労働省研究班の  
調査で分かりました。

性交渉の経験者は男子学生が全体の  
31.1%、女子学生が 43.6%で、このうちクラ  
ミジアに感染していたのは男子 6.7%、女子  
13.1%で、全体では 10.6%に達していました。  
特に女子は欧米に比べても際立って高い結果  
となっています。

(2005.5.4 ヤフーニュースより)

#### 20 代の子宮がん罹患率急増！

#### 20 代からの子宮がん検診を！

子宮頸がんは 20 代の若年層で急激に罹患  
者が増加しています。子宮頸がんのリスク要  
因として、性交渉により感染する HPV (ヒ  
トパピローマウイルス) が重要視されていま  
す。頸がんは検診で予防可能といわれており、  
2004 年からは頸がん検診の対象が 20 歳以上  
に拡大されています。正しい知識を持ち、予  
防に努めることが重要です。

### 発信者 若狭健康福祉センター

健康増進課 担当 清水 久美子

TEL : 0770-52-1300

FAX : 0770-52-1058

MAIL : [k-shimizu-47@pref.fukui.lg.jp](mailto:k-shimizu-47@pref.fukui.lg.jp)

○ ご意見・ご感想お待ちしております！